

今日、行きつけの美容室の中庭にミモザの木を見つけました。雨上がりの青空に黄色の花房が輝いて。身近な春に気持ちもフンワリ軽くなりました。

1月にスタートした九州ツアーも余すところ10日ばかり。佐世保、佐賀、北九州の三都市になりました。それぞれの運営サークルの皆さま、お待たせしました。新たな出会いを今か今かと私も待っています。

そして、3月9日（土）は『かたりつぎ』。仙台の宮城女学院女子大学 大学講堂にて。8回目の今回は、名雪祥代さんのカルテットによるジャズと私の朗読で3・11を振り返ります。

『喝采』東京公演は3月13～17日まで5公演です。どうぞお見逃しなく！

もう一つ、ステージのご案内を。

シリーズ『恋文』。朗読の舞台です。4月6日（土）穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホールにて。心に秘めた「恋」、口に出せなかった「ありがとう」。主人公は小学生の女の子から70代の男性まで。色とりどりの「恋文」です。共演は、ご当地出身の平田満さん。そう、PLATのアソシエイト・アーティストでもいらっしゃるんですね。演出は、昨秋『移動』で一緒させて頂いた文学座の西川信廣さん。ピアノの黒木由香さんが華を添えてくださいます。昨年、岐阜県可児市 ala での大好評を受けて実現した公演。心に沁みる朗読にひととき耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

文末に、春になると思い出す、この言葉を書き添えます。

「花に嵐のたとえもあるさ さよならだけが人生だ」

2月25日 青山にて